

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆3兆円補正予算成立、基礎収支は一転赤字に 政権は重視せず

・2026年度補正予算が参院本会議で可決・成立。26年度の基礎的財政収支は黒字想定が一転、赤字。政府は財政目標の中核を債務残高GDP比の安定引き下げとする方針で単年度の赤字は重視しない。自民党と日本維新の会の与党のほか国民民主党とチームみらいが賛成。立憲民主党や公明党、参政党などは反対。

◆4月実質賃金1.9%増、4カ月連続プラス 政府補助でエネ価格抑制

・厚生労働省が発表した4月の毎月勤労統計調査(速報、従業員5人以上)によると、物価変動の影響を除いた実質賃金は前年同月比で1.9%増。プラスは4カ月連続。政府のガソリン代補助などが物価の伸びを抑えた。名目賃金を示す1人当たりの現金給与総額は31万2425円と3.5%増。3カ月連続で3%以上となるのは1992年3月以来、34年1カ月ぶり。

◆4月の景気動向指数、2カ月連続上昇 判断「上方への局面変化」維持

・内閣府が発表した4月の景気動向指数(速報値)は足元の経済状況を示す一致指数(2020年=100)が117.9と前月から1.1ポイント上がった。2カ月連続で上昇。基調判断は「上方への局面変化を示している」で据え置いた。3カ月移動平均は前月から横ばいとなった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆企業の不動産売却18年ぶり高水準 味の素は本社ビル、資産効率を改善

・上場企業を中心に保有不動産を手放す動きが広がる。味の素は都内の本社ビルを売り、松竹は福岡市に持つ賃貸物件を譲渡。好調な不動産市況に加え、資産を圧縮して効率よく稼ぐ経営の浸透が背景に。味の素は東京・京橋に構えていた本社ビルを2月に売却。複合ビルに本社機能を移す予定。「自己資本利益率(ROE)の改善につなげる」狙い。

◆マンション大規模修繕、遅延が6割 ナフサ由来の防水材など高騰

・中東情勢の悪化に伴う建設資材の納期遅延や値上がりを巡り、マンションの大規模修繕工事の遅延などが全国で発生していることが分かった。マンションの修繕工事会社などでつくるマンション計画修繕施工協会が会員企業を対象にアンケートを実施。「建設資材の納期遅延などで工期が遅れた」「今後遅れる可能性がある」が約6割を占める。

◆ナフサ由来品の供給、経産省「平年並み」 塗料・シンナー15%増

・経済産業省はナフサ(粗製ガソリン)が原料の化学製品の供給見通しについて「平年並み」だと説明。各種業界統計で明確な出荷量の落ち込みがみられないのが理由。中東情勢の関係閣僚会議で経産省として化学製品の供給見通しをまとめて公表。調達が困難とされるシンナーの3月の出荷量は前年同月比15%増。塗料については4月が15%増。

《 注目商品 》

■ニチベイ、ウッドブラインド

・1本のコードで操作できる「スマートコード式」の操作部やヘッドボックスをコンパクト化して刷新。新たに「クレールタッチ」にも対応し、高窓に適した「電動タイプ マルチIR仕様」が「クレールグランツ」でも選択可能に。光漏れを抑制し意匠性とプライバシー性能が向上。



■見付け幅5.5ミリ、壁と一体化するノイズレスな室内ドア

・ミラタップは、ノイズレスデザインにこだわった室内ドア「リミナル」を発売。隠し丁番と埋め込み式取手を採用し、丁番・扉・取手を同色で統一。独自構造により、扉と壁の段差を最小限に抑え、見付け幅を5.5mmにすることで、壁と面一につながる納まりを実現。



■ミラタップ、セラミックキッチンを普及価格で

・耐久性・メンテナンス性に優れたセラミックキッチンの「価格・重さ・施工」の3つの課題を同社独自技術により解決。海外から直接仕入れ、工程や部材の共通化によるコスト削減により、高額になりがちだったセラミックキッチンの普及価格帯を実現。

